

漁梁園名立工業城

2002年1月運営スタート。第一期は敷地面積1万㎡進出企業2社、第二期は敷地面積5万㎡進出企業5社、加えて今年度後半に2社進出します。(合計企業9社)現在「大食堂」「幹部宿舎」の増設を終え開始準備中です。昨年来より工業城は建設ラッシュが続いております。



2階建ての六角形で、内部中央に厨房があり、約2000人の食事が可能です。1階は、娯楽設備、売店を予定しています。



部屋数は全部で48部屋。ワンルームタイプで各部屋専用、シャワー&トイレ完備しています。

《今年後半新規進出2社のプロフィール》

「丸和製作所」(本社:藤沢市)

フレキシブルプリント配線基板の専用メーカーで業界の最大手。既に海外ではマレーシア&インドネシアに進出しており今回中国に進出している大手セットメーカーからの強い要望に応える形でこの清溪に生産拠点設営を決定いたしました。

<http://www.maruwa-ss.co.jp>

「日本開閉器工業」(本社:川崎市)

産業用スイッチのトップメーカー。NASDAQ店頭公開。日本の国内工場は高付加価値品の製造に特化し、汎用品や海外輸出品はこの中国工場を中核に展開する計画です。

<http://www.nikkai.co.jp>

清溪鎮紹介

「万豪大酒店」鎮中心部にほど近い康怡花園に位置し本来6月1日オープン予定でしたが、例外にもれず遅れています。この清溪鎮企業来る多くの出張者も現在は近郊のホテルを利用していますが、オープン後はさらに便利、快適になると期待しています。ホテル内施設等は次号以降にお知らせいたします。



ちょっと気になる事

「来料加工」・・・転廠手続き・・・

ここ華南地域は「来料加工=委託加工」で進出している企業が多く、特に広東省に集積しています。昨年末ジェトロ香港が発行した「華南香港進出マニュアル」は日本の中小企業経営者を念頭に入れ、この来料加工制度を「実質は形式上委託加工貿易契約でありながら外国法人(香港含む)自から華南に現地法人又は、工場を設立し、運営するのとはほぼ同様の感覚となる」(同書P3)と説明しています。この広東省流の「来料加工」制度の中に「転廠」(一種の保税加工の性質で中国国内でモノを工場間で転がす)があります。本年3月に中国税関規定が変更になり、転廠するモノを事前に申請、転廠の都度税関に報告せねばなりません。このように、転廠手続き等の要求が一段と厳しくなりました。この背景に、一説には転廠制度を悪用しモノを横流しする企業があるとの事です。今後、税関当局は厳しく調査、摘発するとのことです。

来料加工廠は「転廠手続き」を社内で一段と厳重にチェックする必要があります。万一誤りがあり税関より「密輸」と見なされたらとんでもない金額の罰金を課せられる場合がありますので、注意する必要があります。

ちょっと気になる食べ物

「暑さをしのぐアイスクリーム(キャンデー)」中国製は実に種類が沢山あり、(日本には引けを取らないくらい)この工業城内売店の冷凍ケースを覗いて見ました。何れも一個一元(約14円)。味も結構いけます。店員の話では、特に**克力棒**(チョコレート味)は特に人気があるとの事です。そこで・・・

- ①菠蘿蜜、②草莓紅豆、③玉米香、
④蜜瓜蜜豆、⑤三色杯、⑥小布丁
・・・はどんなアイス?(正解は次号で)

漁梁園の人(小姐編)



- Q:お名前は?
A:代 中梅
Q:ご出身は?
A:四川省
Q:恋人は?
A:ノーコメント
Q:趣味は?
A:読書

編集部より

進出企業の皆様をより協力を支援できるようにスタッフを(下写真)増強いたしました。



「週刊Borders 第71号」

NNA社発行6月11日号に掲載されました。



今回の、清溪時報復刊を期にさらに頑張りますので、皆様のご支援宜しくお願い申し上げます。

又、皆様からのお問い合わせ、記事にしたい事など遠慮なくご連絡ください。
mail:minli@cn6000.com
TEL:0769-733-8958
FAX:0769-733-8957(時井まで)